

# F-SOAI PのICT搭載による地域・自治体でのデータ利活用



氏名 髙末 憲子 准教授

所属 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻/大学院研究科

URL <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=198shima>

生活支援記録法 (F-SOAI P) 実践・教育研究所

<http://seikatsu.care/> <https://researchmap.jp/S100825>

研究分野 ●ソーシャルケア、対人支援  
●多職種連携、地域包括ケア

キーワード F-SOAI P、生活支援記録法、IPW、包括的支援、自治体、福祉相談、地域課題、ICT・AI、PDCA サイクル、科学的実践、質の向上、データ利活用、マイクロ・メゾ・マクロ、コロナ禍

## ■ 研究シースの概要

### F-SOAI Pの6項目(実践の可視化・必要最小限)

<b>F Focus</b> 着眼点	ニーズ、気がり等 ※その場面を踏まえて ※ケアプランの目標・課題やプランと連動
<b>S Subjective</b> Data 主観的情報	利用者(キーパーソンを含む)の言葉 ※キーパーソンの場合、口(関係や続柄)と表記
<b>O Objective Data</b> 客観的情報	観察・状態や他職種から得られた情報、環境・経過等
<b>A Assessment</b> アセスメント	援助者(記録者本人)の判断・解釈 →気づき・考えた事
<b>I Intervention</b> Implementation 介入・実施した事	援助者(記録者本人)の対応 ※支援、声かけ、連絡調整、介護等
<b>P Plan</b> 計画	当面の対応予定



## ■ 共同研究・受託研究・特定講座のご提案：共同研究者（小嶋章吾：国際医療福祉大学）

- ◆対人支援（医療・福祉・教育など）におけるICTへのF-SOAI P搭載：データ利活用について
- ◆地域・自治体における包括的支援体制へのF-SOAI Pの貢献：マイクロ・メゾ・マクロレベルでの好循環

## ■ アピールポイント：3つの医療・福祉のシステムに搭載されています



相談支援サービスの質と生産性の向上へ「福祉相談支援システム」を機能拡充  
<https://www.tkc.jp/news/2020/20200513>

ニュースリリース所収の図

※2020年6月16日付『下野新聞』11面  
「福祉・介護・医療情報共有を支援」にも掲載



放送大学:高齢期の生活変動と社会福祉、260頁の図を修正

訪問リハビリテーション、第10巻、第1号、67の図